

宮城県感染症情報

～ 感染性胃腸炎に注意しましょう ～

平成28年6月28日
宮城県塩釜保健所岩沼支所

感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎とは「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サポウイルス」、「アデノウイルス」等の微生物を原因とする胃腸炎の総称であり、特にノロウイルスは少ないウイルス量で感染するので、ごくわずかな吐物や便から人の手などを介して多くのヒトを発症させるとされています。主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛で、健康な方は軽症で回復しますが、特に子どもやお年寄りなどでは重症化することもあります。

秋から冬にかけて流行しますが、春以降にも増加しており、保育所・学校等において集団感染が疑われる事例が発生していますので、手洗いと消毒を徹底し、感染予防に心がけましょう。

予防のポイント

① トイレの後、食事の前、調理の前などに、石けんと流水で手をよく洗う。

② 食品は十分に洗い、中心までよく加熱（中心部が85℃～90℃で90秒以上）する。

③ 調理器具は、その都度洗剤で洗い、熱湯等で十分消毒（85℃以上で1分以上）する。



④ 下痢などの症状が見られる場合には、できるだけ浴槽に入らず、掛け湯かシャワーで済ませる。

⑤ バスタオルや手ふきタオルは共有せず、個別のものを準備する。



⑥ 下痢症状がなくても、1ヶ月程度ウイルスが排泄されるので、注意が必要です。

⑦ 吐物や便などは、使い捨てのマスクや手袋を着用し、飛び散らないように処理し、次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒する。

⑧ アルコール系消毒剤での手指消毒は、十分な効果が期待できません。

関連するホームページ

・厚生労働省ホームページにて「感染性胃腸炎」でサイト内検索

【問い合わせ】

塩釜保健所岩沼支所
TEL：0223-22-2189
FAX：0223-24-3525